

小規模太陽光の環境債 トライベイ

太陽光発電大手のトラ 超の計画で、2022年 開発を進める構えだ。
イベイキャピタル（東京 までに出力50キロワットの未満の 環境債とは、環境に配
・千代田）は、出力50キロワット 「低圧」の太陽光を50カ 慮した事業に資金用途を
キロワットの未満の小規模案件の開 所開発する資金に充て 限定して発行する債券
発を対象としたグリーン する。大型案件の開発が難 だ。脱炭素の流れの中で
ボンド（環境債）を発行 しくなるなか、低圧に照 導入する動きは増えてお
する。調達規模は5億円 準を合わせることで新規 り、9月には丸紅やIN

PEXが発行を発表し 発中を含めて保有する太
た。トライベイのよつに、 陽光の出力は計12万キロワ
低圧の太陽光の開発を対 にも上る。これまでは出力
象とした環境債は珍し が2千キロワット以上の「特別
く、ゴールドマン・サツ 高圧」の案件が中心だっ
クス証券がアレンジャー たが、近年は電力の買い
を務める。 取り価格の下落や新設に
トライベイは14年の設 適した土地が少なくなる
立以降、再生可能エネルギー など、大型案件を巡る状
ギー発電事業を拡大。開 況が厳しくなっている。